

新たな教育センター（宍粟市立総合教育センター）について 概要版

1 基本的な考え方

国の動向

「新たな教育振興基本計画（R5～R9）」

- ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

宍粟市の教育をとりまく状況

- ①人口が4万人を割り込み、少子化・過疎化が予想を上回るスピードで進行する中、小規模校の良さを生かした取組や幼小連携・小中一貫など宍粟市の特徴ある教育の推進が求められる。
- ②全国的に不登校が増加する中、宍粟市は増加に歯止めがかかっている。引き続き個人のニーズに応じた、きめ細やかな支援が必要である。
- ③全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国水準とほぼ同程度であるが、今後も、学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実に努めるために、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 基本コンセプト

宍粟の子どもたちが安心して楽しく学校園所生活を送り、将来に向けて「よりよく生きる力」を身に付けていくためには、教職員等が心身・社会的に健康で、常にモチベーションをもち、教育活動に取り組める体制が重要で、また、技術の発達や新たなニーズなど就学前保育・学校教育を取り巻く様々な変化に対応できる環境が整備されていることが重要である。そのため、以下の4点を基本コンセプトとして、新しい総合教育センターを創造する。

1 超スマート社会到来に求められる教育・保育内容の研究・開発拠点

2 学び続ける教職員等に必要な実践的な研修の企画・実施拠点

3 子ども・保護者を対象にした発達や悩み等の相談・支援拠点

4 学校・地域が教育を核として地域活力を生み出す交流拠点

子どもたちの将来の展望を広げる教育の探究と創造

～新たな学びの創造と活力の創出の好循環～

1 調査・研究・開発

教育・保育に関する課題等について、調査研究を行うとともに、子どもの豊かな学びと育ちのためのカリキュラム開発等を行う

- ①保育・授業、指導計画づくり
- ②教材研究や学力状況等の分析
- ③教育課題に対する各種委員会の設置
- ④教科書センター（常設展示）

大学等
研究
機関

福祉
医療
専門
機関

2 人材育成

教職員の資質能力の向上や教職員のニーズに対応した研修の企画・実施・評価を行い、学び続ける教職員の支援を行う

- ①ライフステージ別研修
- ②教育課題研修 ③自主研修
- ④教材や資料、学習指導案等の集積と活用

3 相談・支援

子どもの発達・発達や不登校など教育上の課題に関する相談について、教育・福祉・医療が連携した支援を行う

- ①教育相談・カウンセリング
- ②学校サポート会議
- ③教育支援センター（さつき学級サテライト）

4 参画・交流

学校と地域の連携・協働をもとにした教育活動や地域活動の拠点として、教育・保育について理解を深め充実させるための場や機会を創出する。

- ①コミュニティスクール（情報交流）
- ②木育の視点による交流活動
- ③家庭教育
- ④保護者ネットワーク

企業
民間
団体

市民
保護者